



特集

議員
の

聞く
×
つなぐ

昨秋、23年ぶりに開催された子供議会。全9校の町立学校から18人の子供議員が選出されました。最初は緊張していた子供議員も、一般質問や未来宣言の決議に臨む中、堂々とした姿で町の施策等をただしていました。今回は特集として、大活躍だった子供議員の皆さんを取材しました。



平成28年10月18日 子供議会を終えて

子供議員18人全員が 次回開催を求める もっと子供たちの声に耳を傾けて!

2017.10.8.2

Q 議場に入った
瞬間の気持ち
を教えてください

- ・やばい…
- ・不安と緊張と、ワクワク感
- ・頑張るぞ。やってやるぜ
- ・緊張しそうで、あまり覚えていません
- ・思ったより議場が広かった

Q 一般質問に対する
町の答弁に満足しましたか

- ・「できない・やっていない」という答えが多かった気がする
- ・丁寧に答えてもらったので満足
- ・実現できるか返事をしてほしかったものもあった
- ・もっと具体的に「ダメ」な理由を知りたかった。ダメなら他の案を教えてほしい
- ・町長が答えてくれたので嬉しかった

取材を
終えて

編集委員の一言

- ・議会をもっと身近に。子供新聞のような、子供向けの「子供議会広報」を編集・発行してみたいと感じました。(高瀬 勉)
- ・子供議員の男女比は半々。町議会もそうなればいいなあ。(田中照子)
- ・子供が理解・納得できる説明を心がけること。それは、全ての町民に対する優しさですね。(戸口 勝)
- ・子供議員さんたちには、前もって一度は本会議の質問場面を見せておきたかった。(笠原 武)
- ・ここで大切なのは、相手に考えてもらう、考えさせること。その機会をつくってゆくことです。(島崎隆夫)
- ・「私達は小川町の未来を受け継ぐ準備をします」の発言に、襟を正すべきは大人ではなくかろうか。(笠原規弘)



Q あなたにとっての
「小川町」とは

- ・自然の豊かさが自慢
- ・とても大切な場所
- ・心落ち着く場所
- ・いつまでも私の家
- ・災害が少なくて住みよい
- ・みんなが仲良くて家族のような町



世界につだけの 子供議員バッジ

子供議会当日、議会から子供議員に対して、記章（子供議員バッジ）を贈呈しました。この記章は、「小川和紙を愛する会」の皆さんによって制作したもので、カラーは赤・青・黄・緑・橙の全5色。独自の製法からなる色糸紙を使用しています。

